

ベトナム農業の市場化と持続可能な発展

2025年3月25日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナム農業の市場化と持続可能な発展

ベトナム国内の農業は、単なる農作物生産から経済価値の高い農業へと移行している。特に野菜生産においては、以前は各家庭での自給自足が中心であったが、現在では市場向けの大規模生産が増えている。交通インフラの発展や技術研修の強化により、農民は高付加価値の作物を栽培し、効率的な農業経営を実現している。

例えば、ライチャウ省では農民が農業技術を導入し、季節ごとに収益性の高い作物を栽培している。具体的には、温室やネットハウスを活用した栽培や有機肥料を用いた環境に優しい農業が広がり、ラオカイ省や他の地方への輸出も増えている。さらに、農民は畜産を組み合わせた複合経営を行い、家畜の排泄物を肥料として再利用するなど、持続可能な農業モデルを推進している。

タインホア省やタンウエン県では、農家が作物の多様化を図り、需要に応じた作付け計画を立てている。収穫後は流通業者と連携し、安定した販売ルートを確保している。さらに、市場のニーズに応じた品種改良や生産技術の向上が進められ、収益性の向上が見られる。

ベトナム政府の支援の下で、農業振興策も進められている。具体的には、農業専門機関が農民を指導し、病害虫対策や持続可能な農法の導入を支援している。また、オンラインを活用した市場価格情報の提供や、商談会の開催による販路拡大の支援が行われている。

今後の課題として、農業のさらなる発展には、科学技術の活用と安全な農業手法の確立が求められる。特に、化学肥料や農薬の過度な使用を抑えつつ、生産性を維持するための環境配慮型農業の推進が不可欠である。さらに、収穫時期の分散化や契約栽培の推進により、市場の需給バランスを調整し、価格変動の影響を軽減することが必要である。

ベトナム国内では、農業の近代化と持続可能な発展に向けた取り組みが加速しており、今後も生産技術の向上と市場拡大が期待されている。

以上